

会津若松市食育推進計画（素案）への意見募集結果報告書

募集方法及び結果

1. 募集期間 平成22年12月15日（水）～平成23年1月14日（金）
2. 提出方法 電子メール（2件）、ファックス（1件）
3. 意見件数 5件（3人）
4. 意見の要旨と市の考え方

NO.	意見に係る 指摘箇所	意見の要旨	市の考え方
1	P 20 3 取り組みの方針 と具体策	食育として、米食を増やし、一汁一菜に、肉、魚をバランスよくとり、甘酒を配るなどに組み合わせ、地産地消により食糧需給を高め、今後の食糧危機に備えることこそ日本の将来につながると考える。	本計画では取り組みの方針と方向性について、各方面での自主的な取り組みを重視し、ライフステージで途切れることなく連携を持って食育をすすめることを掲げております。 頂いた御意見については、各方面の取り組みを集約し、食育に関る方々、各種機関・団体のネットワーク化を図った上で、取り組みの具体策として検討して参ります。
2	P 25 2 学齢期	「学齢期」の視点及び内容に「農業体験を通じて自然の恩恵や、食に関する人々の様々な活動を理解する」と加えて欲しい。	ご意見の趣旨をふまえ、下記の通り加筆しました。 「今後更に、 <u>農業体験を通じて自然の恩恵や食に関する人々の様々な活動を理解することや、食材の使い残しや廃棄を少なくすることなど、食を大切にすることや食への感謝の気持ちを育むこと</u> を、家庭や地域が一体となって、体験・実践できるように進めることが大切です。」 なお、具体的取り組み内容については、ネットワークを活用して、御意見や取り組みのアイデアを伺いながら、随時検討して参ります。
3	P 29 4 成年期	「成年期」の取り組みの中に、『親』の食育に対する具体的な取り組みが見えない。	本計画では「成年期」の取り組みの視点として、保護者に関らず成年期全体が食について学んだり体験できる場作りを示しております。 また、具体的取り組み内容については、一例を示したものですので、更に発展的な取り組みについては、ネットワークを活用して随時検討して参ります。
4	P 33 5 高齢期	高齢者自身の食育だけでなく、高齢者の持っているノウハウを次世代へ伝達できる仕組みも取り組みに導入を。	高齢者の方々は豊かな経験と蓄積された技術をお持ちであり、地域食育活動における中核的な存在であると認識いたしております。 今後の仕組みづくりとして、高齢者の皆様のネットワークへの積極的な参加を期待申し上げるとともに、次世代への伝達の場作りについても随時検討して参ります。

5	P35 計画の進行管理と 評価	目標値は抽象的な表現ではなく、明確な数値目標とすべきではないか。	<p>食育を通して元気になる指標として「健康」がありますが、数値目標化が難しく、健康につながるような生活習慣からの指標、また、地域での食文化の伝達においても地域食材の摂取状況をとりあげたものとなっております。</p> <p>平成23年度には市民意識調査を実施する予定であり、また、24年度には健康に関する調査も実施予定となっておりますので、これらの結果や今後の社会情勢、また、ネットワーク等市民の皆様のご意見を加え、随時設定について検討を重ねて参ります。</p>
---	-----------------------	----------------------------------	---